

傷んだ天井や扉、基礎部分など一新



改修され扉などが新しくなった本殿



改修工事を終えた本殿に、仮殿から「神体を移す神社関係者らの行列」昨年12月22日

日吉神社の本殿改修

秋田市新屋

秋田市新屋の日吉神社（石澤千秋宮司）の本殿が改修され、傷んだ天井や扉、基礎部分などが新しくなった。外構の工事は4月まで続く。

日吉神社は1895年に火災で焼失し、1917年に「

事が行われていた。

本殿は約3平方メートルで、扉や天井など傷みの激しい部分を新しくした。約132平方メートルの幣殿は、全て建て替えた。

12月21日にほぼ完成。費用は約1億5千万円で、氏子の寄付で約3千万円を賄い、残りは神社が負担する。

12月22日には、改修期間中に敷地内の仮殿に置かれていた「神体を移す」本殿遷座祭「

が開かれた。石澤宮司（69）が新しくなった本殿にご神体を移し、神社関係者が酒や魚などをまわらせた。

石澤宮司は「氏子たちと一緒に、令和を記念した改修にまつわる行事を行うことができうれしい」と話した。

日吉神社は1200年以上の歴史があるとされる。

（盛積史）